



新潟市高等職業訓練校

長年にわたり 地域の技能の向上に寄与する

設置・運営 ●職業訓練法人新潟市職業訓練協会

所在地 ●新潟市東区藤見町1-18-5

訓練科目と期間 ●普通課程: 塑性加工科建築板金コース(2年)、木造建築科建築大工コース(2年)、建築設計科二級建築士受験対策コース(1年)、電気工事科第二種電気工事士養成コース(1年)、送配電科第三種電気主任技術者受験対策コース(1年)、電気工事科第一種電気工事士受験対策コース(9カ月) / 短期課程: 一級技能士コース造園科、同配管科、同塗装科、第二種電気工事士筆記試験対策、同技能試験対策、第一種電気工事士筆記試験対策、同技能試験対策、溶接科(アーク溶接特別教育)

新潟市高等職業訓練校は、昭和37年に新潟市共同職業訓練所として設立され、昭和44年に現校名に改称された。同校は設立当初、新潟市内では地域業界団体を運営母体とした職業訓練校として無二の存在であった。

運営主体は、当初新潟市共同職業訓練協会であったが、昭和45年同協会が新潟県から職業訓練協会として設立認可を受けた後は、新潟市職業訓練協会として運営を行っている。

訓練内容は、主に訓練協会会員企業の従業員を対象とした長期課程訓練と短期課程訓練を行っている。

長期課程訓練は、1年制と2年制を設け、塑性加工や木造建築、電気工事などの分野をカバーし、授業は平日夜や土曜日に行われている。

短期課程訓練は、概ね3カ月の期間



で、造園、配管、塗装などの一級技能士検定の学科習得講習を夜間行っているほか、2日から4日間の日程で、表具、鉄筋、塗装、建具などの技能向上訓練や、第一種・第二種電気工事士試験事前講習を土日に行っている。

生徒の年齢層は18歳から50代まで幅広く、専門知識・技能の習得を目指して訓練に励んでいる。

「詳しいアンケート調査などは実施していませんが、生徒からもわかりやすい授業だという評判を得ています」(事務局長・塩田徹郎氏)

新潟地域職業訓練センター

新潟市高等職業訓練校には新潟地域職業訓練センターが併設され、ともに新潟市職業訓練協会が運営を行っている。同職業訓練センターでは、新潟県立テクノスクールから受託している離職者を対象にした公共職業訓練(第二種電気工事士資格取得コースやパソコン操作資格取得コース)、地域市民のための趣味講座(パソコン、村上堆朱、漆芸、水彩画、編物教室など)を実施している。

就職支援

訓練協会では、新潟県立テクノスクールから受託している離職者を対象にした公共職業訓練の訓練生に対して就職支援を行っている。

支援内容は、ハローワークの就職情報提供やテクノスクール担当者、訓

練協会の担当者、訓練協会が提携しているキャリアコンサルタントの三者で訓練生の適性等の情報を共有しながら就職支援を行っている。

就職実績は地域の中小企業の採用状況を反映してかなり厳しいというが、第二種電気工事士資格取得コース修了生は、電気関連企業への就職を多く果たしている。

今後へ向けて

昭和37年から、新潟市高等職業訓練校は、職人が技能を身につけ、その技能を向上させる訓練施設として、長年建設業界の人材育成、技能訓練に寄与してきた。

しかし、昨今、訓練協会の会員である地元の中小的建設関連企業は、新規採用を抑制する一方、熟練技能者を求める傾向にあり、訓練を受けようとする人の数も減少しつつあるという。

塩田事務局長は、訓練協会会員企業に対しても、さらにさまざまな媒体でPRに努め、同校の有効利用を促したいと話す。

「現在、当施設は訓練協会会員企業及び建設関連団体の職業訓練や地域の方々のための市民講座などに広くご利用いただいておりますが、以前のように多くの方から当施設を利用していただくよう、今後更に新潟市内でも有数の充実した設備をもつ当施設の優位性をさまざまな機会でもPRをしながら、当施設を元気にしたいと思っています」